

令和4年度
事業報告書

大阪府和泉市松尾寺町1525番地の5
社会福祉法人童夢創成館

令和4年度事業報告書

2020年3月に、世界保健機関（WHO）が新型コロナウイルスの世界的大流行（パンデミック）を表明してから丁度3年が経過し、この間、世界の累計感染者数は、7億6千万人に迫り、死者は680万人を超えました。

但し、ウィルスの進化に不確実性はあるものの、致死率は確実に下がるとともに、中国のゼロコロナ政策や欧州のロックダウンなども解除され、緊急事態ではなく各国での適切なコロナ管理を呼びかけています。

日本でも、令和5年5月8日からは、新型インフルエンザ等感染症（2類）から5類に移行され、通常のインフルエンザ等と同等の扱いがなされる予定です。

法人内の園においても、これまでのように濃厚接触者などの判定はなくなりますが、保育室の換気を適切に行い、保育活動後の手洗い励行や咳エチケットの継続指導。また、施設内の衛生環境を良好に保つため、トイレや遊具などのアルコール消毒等を定期的且つ継続的に行ってまいります。

また、日常の給食の際の亚克力板の設置や食事中の「黙食」の習慣は中止しますが、近距離での対面、大声での発声や対話は控えることとします。

一方、私たち幼児保育・教育関係者において「静かなる脅威」と囁かれる少子化の加速問題も懸念されています。

令和4年度における新生児の出生数は、速報値から推計しても、80万人を大きく下回ることが予想され、合計特殊出生率も過去最低の1.26に近づくものと推定されています。

少子化のボトルネックとなっているのは、若年層における非正規雇用労働者の増加による未婚化の進行や、孤立した子育てによる夫婦の出生率の低下があり、私たち保育・幼児教育に携わる者が貢献できる部分も少なくはありません。少なく生まれた乳幼児を健やかに育て、子育て不安を抱える保護者に質の高い教育・保育を提供することで、少子化のネックの解消につながるものと思われま

す。

少子化は、幼児教育・保育の施設運営者にとって、リスクマネジメントを考

える上においても最も重要なファクターとなっています。

少子化の進行とともに、若年労働人口も減少することから、保育士等の人材確保がますます困難になるとともに、園児数の減少から、経営も逼迫するものと予想されます。

当分は、女性の就労人口の増加等により逡減率は抑えられるものの、地方やアクセスの悪いところ、設備の悪い園においては既に経営の悪化が見られます。

このような経営環境の変化に対応するには、これまで以上に事業対象を拡大し、地域のすべての子育て世帯を対象とする事業を展開する必要があります。

これを法人の施設のみで取り組むことは困難であり、地域の放課後事業や障

害児、更には高齢者等に対する事業へとも牽連した活動が必要であります。

また、自法人や自園だけでの活動が難しい場合は、他の施設や法人とも協働・連携して進めることも肝要となります。

更に、施設運営の動向から見てみると、全国の認定こども園の数は、令和5年4月時点で、約9800か所に迫る勢いとなることが民間の推計でも示されています。

都道府県別では、大阪府が819園でトップとなり、兵庫県が641園で続いております。

特に全国的な傾向からすれば、保育所型認定こども園が急増しており、北海道などでは、幼保連携型が309施設に対して、保育所型が211施設となり、全国でも特に保育所型の割合が多い都道府県となっております。

こうした傾向を斟酌しつつ、みなまつ保育園本園・分園についても、保育所型での認定こども園への移行も視野に入れる時期がきたようにも思えます。

かかる意味においては、現在法人が進めている、社会福祉連携推進法人の考え方も、リスクマネジメントの概念に適うことから計画的に進めてまいります。

令和4年度社会福祉法人童夢創成館の法人運営に目を転じてみますと、和泉市松尾寺町のみなまつ保育園においては、地域の住宅開発が続いており、定員の充足率が190%となったことから、同市で第1号となる分園（みなまつ保育園分園 定員30名）を新設し、在園児数を分散させることとしました。

令和4年度の決算書にもあるとおり、今回の分園工事におきましては、工事等が181,610千円に対して、施設整備補助金が129,475千円交付されたことから、自己資金は52,135千円に止めることができました。

ただし、運転資金の安定を図るため、市中銀行より40,000千円の借入を行いました。

分園の開設にともない、令和5年度より、みなまつ保育園本園の定員を90名から120名に増員させるための申請を行っております。

令和5年3月末のみなまつ保育園における在籍児数は、定員90名に対して実員176名となっており、恒常的な定員超過に係る施設型給付の減額調整があったものの、実園児数の遡増がこれを大きく上回り、運転資金の返済を考慮しても、資金収支においては7,847千円の収入超過となりました。

また、認定こども園横山きのみこども園においても、定員115名に対して実員が162名と、在籍率が140%を超える状況となっており、資金収支においても今年度は分園の建築資金に対する保育所施設設備積立資金の取り崩しを行ったものの、2,484千円の収入超過となっております。

次年度からは、分園も機能をスタートさせることから、資金収支においても安定的な数値が見込まれ、当期の資金収支差額合計11,300千円を大幅に上回ることが期待されています。

令和4年度
事業報告書

大阪府和泉市松尾寺町1525番地の5
社会福祉法人童夢創成館

みなまつ保育園

みなまつ保育園（令和4年度）

1、保育園の運営

所在地 和泉市松尾寺町1525番地の5

定員 90名（0～5歳児）

実員 175名

職員 43名（園長、保育士（派遣を含む）、事務職員、調理パート）

2、保育目標

本園では「遊」「食」「眠」「笑」を大切にする保育を目標とし、保育園での主人公は子どもであり、「与える」「見せる」「そろえる」「やらせる」「せかせる」保育ではなく、やりたいこと、やれそうなことに自ら挑戦し、心を満たし、遊びこみ、遊びきる、のびのび保育を行います。

3、保育時間

午前7時30分から午後7時30分まで。

4、保育の内容

「人」＋「良」＝『食』のとおり、食べ物は人のからだを良くするものでなくてはなりません。本園では、健康なからだと豊かな心を育てていく食事を園生活の基本に据えて取り組みます。また、みなまつ保育園では、家族的雰囲気の中で異年齢の交流が楽しめるよう、施設内の壁面を極力無くし、オープンスペースでの「たてわり保育」を実践しています。核家族社会の中で、子ども達は大勢のお兄ちゃん、お姉ちゃん、妹・弟と関わり、学年ごとの「よこわり保育園」では味わえない仲良し園生活を実践しています。

5、特別保育

延長保育、一時預り保育、障がい児保育

6、委託事業

保育料徴収事務（和泉市に代わって保育料を受領および市へ納付）

7、保育担当

園長は総括的指揮をとることとし、いずれの園児に対しても十分に状況の把握ができ、すばやく対応できる態勢をとりました。

8、保育担当者

入所児童数等の配置基準により対応しました。

9、業務委託

会計業務 東野税理士事務所

自主監査 小長谷公認会計士事務所

10、嘱託医

内科

歯 科

1 1、 資金の収支

通常経費は運営費収入でまかかった。

1 2、 今年度に購入した固定資産

①軒の設置

②倉庫の設置

③パソコン

④空気清浄機

運営の状況

園名 みなまつ保育園

令和5年3月31日現在

○ 職種別職員数

園長	1名
副園長	0名
主任保育士	1名
保育士	15名
保育士(パート)	7名
保育士(派遣)	2名
パート(非常勤)保育士	1名
派遣(非常勤)保育士	7名
看護師	1名
栄養士	0名
調理師(常勤)	2名
調理師(パート)	1名
事務員	1名
保育補助員	2名
嘱託医・歯科医	2名
計	43名

○ 入所児数及び年齢

0歳児	19名
1歳児	30名
2歳児	33名
3歳児	32名
4歳児	29名
5歳児	32名

計……175名

○ クラス編成と担任数

(令和5年3月末時点)

ク ラ ス 名	年 齢	定員数	園児数	担任数
ばら組	0歳児	6名	19名	9名
さくら組	1歳児	12名	30名	7名
すみれ組	2歳児	18名	33名	7名
たんぽぽ組	3歳児	18名	32名	3名
ゆり組	4歳児	18名	29名	3名
きく組	5歳児	18名	32名	3名

令和4年度
事業報告書

大阪府和泉市仏並町 358 番地の 11
社会福祉法人童夢創成館
認定こども園横山きのみこども園

令和4年度事業報告書

令和5年3月31日現在
 社会福祉法人 童夢創成館
 認定こども園横山きのみこども園

① 定員 115名

1号認定	3歳児	8名
1号認定	4歳児	8名
1号認定	5歳児	8名
2号認定	3歳児	18名
2号認定	4歳児	18名
2号認定	5歳児	18名
3号認定	0歳児	8名
3号認定	1歳児	13名
3号認定	2歳児	15名

② 園児の状況

(令和5年3月)

クラス	年齢	定員(名)	在籍(名)
ひよこ	0	8	8
りす	1	13	28
うさぎ	2	15	27 (うち1号 4名)
ぱんだ	3	13	18 (うち1号 3名)
ぺんぎん	3	13	19 (うち1号 4名)
きりん	4	26	25 (うち1号 2名)
ぞう	5	27	36 (うち1号 6名)
合計		115	162 (うち1号 19名)

※ クラス名末尾2の表記は幼稚園部のクラスを示す。

(令和4年3月)

クラス	年齢	定員(名)	在籍(名)
ひよこ	0	8	14
りす	1	13	20
うさぎ	2	15	36
ぱんだ	3	13	13
ぺんぎん	3	13	12
きりん	4	26	34

ぞう	5	27	35
合計	115	164	

③ 職員構成

(令和5年3月)

部門	業務担当・雇 形	人数(名)	備考
保育教諭	施設長	1	
	主幹保育教諭	2	
	正職	13	
	パート	8	
	派遣(正職)	2	
	派遣(パート)	9	
	看護師	1	
その他	事務員他	1	
	運転手	2	
調理	栄養士	0	
	調理員	4	
	派遣	1	
延長	パート	1	
子育て支援	正職	0	
	パート	0	
	派遣(パート)	2	
嘱託医等	内科医	1	
	歯科医	1	
	薬剤師	1	
合計		56	

④ 保育事業について

(A) 通常保育

年度を通し、0歳～5歳児までの異年齢による縦割り保育を基本として保育に取り組んだ。食育に関しては、当園が和泉市立保育所からの民営化園であることから、和泉市の公立園で実践されてきた先駆的な食育内容を極力継承し、地域の食文化の内容を受け継ぐよう努めてまいりました。また、月々の指導計画を作成するとともに、その達成状況を職員会議において確認し、その他、行事、誕生会、園外保育、避難訓練事業等を実施しました。

(B) 障がい児保育事業

令和4年度は配慮を要する児童が6名おり、市の助成を得て保育を実施することができた。

(C) 長時間保育・延長保育

和泉市においては、新設園については、延長保育と一時預かり保育事業が必須とされており、本園においても実施した。ただし、一時預かり保育については、国の交付基準を超過しなかったため、補助金の対象とはならなかった。

(注) 延長保育 午後7時30分まで。

(D) 子育て支援事業

令和4年度は、地域拠点センター（従来型）を実施し、年間を通して延べ利用者数で315名が様々な活動に参加することができた。

ア. センター開放	8名
イ. 親子教室	202名
ウ. 子育てサークル	24名
エ. 子育て講座	66名
オ. 子育て相談	15名
計	<u>315名</u>